

平成 13 年度第 1 回生物物理運営委員会議事録

日時:9 月 13 日 12:00～13:00

場所:東北大学川内北キャンパス A201 室

出席者:郷(通)会長、津田副会長、柳田次期会長、阿久津、伊藤、宇高、栗原、柴田、白井、曾我部、高橋、中村、難波、船津、美宅各委員、大木 H12 年会実行委員長、今井 H13 年会実行委員長、石渡編集実行委員長、児玉(大和田支部長代理)、河合会長秘書

欠席者:木下、片岡、倭各委員

議事に先立ち、新旧運営委員の自己紹介があった。

大木 H12 年会実行委員長より、公開シンポジウム参加者は約 300 名であったとの報告があった。年会は、事前登録 633 名、当日登録は、12 日終了時点で 564 名で、年会参加者は合計 1,197 名であったとの報告があった。また、懇親会参加者は 483 名であった。例年より当日登録が増えた理由として、UMIN によるオンライン登録により、事前の参加費振り込みを怠った会員が多かったせいではないかとのコメントがあった。これら気づいた点は、今井 H13 年会実行委員長への申し送り事項とする。

以下、議事次第を変更して議題から開始。

議題

(1)新運営委員の役割分担 (郷) 資料 議 1

郷会長より新運営委員会役割分担案が示された。基本的に旧運営委員は役割継続とする。

- ・若手一年目は書記との慣例により、柴田委員は書記。
- ・美宅委員は物理学会連絡。
- ・曾我部委員は外交。
- ・木下副会長は賞・助成金推薦委員会に変更される。
- ・庶務は会長室と緊密に連絡が取れる人間が 1 名は必要であるので高橋、白井、中村各委員。
- ・栗原委員は広告、船津委員(継続)と共同する。
- ・伊藤委員は経理で阿久津委員(継続)と共同。

- ・中村委員は年会を兼任、再来年の名古屋での年会時に運営委員としてシンポジウム提案のまとめ役となる。
- ・宇高委員は会員、片岡委員(継続)と共同して会員の加入促進にあたる。
- ・会誌担当は慣例により副会長が兼任するので津田副会長。
- ・企画は美宅委員、片岡委員(継続)と共同で、勉強会や出版などの活動を企画する。
- ・柴田委員は HP 兼任、倭委員(継続)と共同する。名古屋にサーバがあるうちは倭委員が主に担当する、来年度はサーバの阪大移動に伴い柴田委員が担当する。

郷会長より、学術会議要望等により女性会員の参加を促進することが要求されることから、女性会員育成担当を創設するとの提案があった。栗原・宇高両委員、および柳田次期会長をこの担当とする。栗原委員より、柳田次期会長を筆頭としてはどうかとの意見があった。郷会長より名簿順位は関係ないとの回答があった。

選挙管理委員長について、郷会長より倭委員でどうかとの提案があった。本来庶務の中村委員の担当であるが、選挙毎に会長室のある名古屋へ出向くのは負担が大きすぎるとの配慮から。選挙管理委員長は倭委員で承認された。ほかに、郷会長から、倭委員が事務秘書、選挙管理委員など各運営委員の仕事について、仕事の手順書を作成して HP で運営委員に公開する準備をしているので、できるだけ早期に運営委員に対する公開をして頂くとのコメントがあった。

平成 13 年度運営委員役割分担(案)

役割 13・14 年度(新運営委員) 12・13 年度(継続)
 副会長（津田・木下）庶務（高橋・白井・中村・倭(選挙管理委員長)）
 広告（栗原・船津）書記（柴田）経理（伊藤・阿久津）年会（中村・木下）会
 員（宇高・片岡）物理学会連絡（美宅）会誌（津田・難波）外交（津田・曾我
 部）企画（美宅・片岡）ホームページ（柴田・倭）2001 年 Biological Physics（片
 岡）賞・助成金推薦委員会（木下）女性会員育成（栗原・宇高・柳田）

(2)平成 13 年度分野別専門委員の決定方法について（難波）

分野別専門委員の決定法について難波委員より説明があった。現在分野別専門委員は 119 人であり、毎年増えてきている。キーワードが増加するので、放置するとこれからも増加すると思われるので、分野別専門委員をあまり増やさないようにしたい。今年度のデータは既に集まっているので、次回運営委員会で報告するとの説明があった。郷会長より、分野別専門委員には任期があったのではないかと質問があった。難波委員より、基本的にあまり同一人が継続しないようにしているとの回答があった。

大木 H12 年会実行委員長より、例年ははがきによる分野別専門委員の投票を事務局で人力で集計していたが、本年より、ネットワーク上で年会登録と同時に投票する方式であるのですでに電子化されたデータがあるとのコメントがあった。難波委員より、一応昨年についても電子データがあるとの指摘があった。

難波委員より、昨日の総会で総会と専門委員会の順番を逆にしたほうがいいのではないかと指摘があった。郷会長より、来年大阪の年会から順序を逆にするように検討するとの回答があった。分野別専門委員決定法に関する問題は次期会誌担当の津田副委員長に申し送る事となった。

(3)次期編集実行委員長候補の答申 (難波) 資料 議3

次期編集実行委員長候補選出に関する以下の経過説明があった。学会委員からの推薦をへて、郷会長、七田副会長、木下副会長、石渡編集実行委員長、難波会誌担当運営委員で構成される5人の選考委員会で以下の候補者3名を選出した。

猪飼 篤 (東工大・理工)、神谷 律 (東大・理)、木下 一彦 (慶応大・理工)

運営委員会で投票を行い、得票順に優先順位を付けて難波委員から候補者に依頼し、決定は次回運営委員会で行う。投票の結果は以下の通りであり、この順位に基づき交渉を行うこととなった。

候補者指名 得票数

木下 一彦 7、猪飼 篤 6、神谷 律 2

報告事項

(1)平成 13 年度年会準備状況 (今井) 資料 報1

今井 H13 年会実行委員長より以下の報告があった。

- ・会場、大阪大学吹田地区、日程、平成 13 年 10 月 6 日(土)～10 月 8 日(月、祝日)に決定した。
- ・会場となる建物は、吹田キャンパス内の 3 カ所で互いに 10 分以内の距離にある。
- ・基本方針として、一般発表はすべてポスター発表を体育館で行う、シンポジウムは口頭発表とする。
- ・アクセスに関して。交通機関はすこし不便である。2 系統のバスかモノレールの 3 つの選択肢がある。
- ・交通、宿泊に関しては大学生協と交渉中。
- ・要旨登録に関しては UMIN を引き続いて利用する。
- ・本年会終了後、ただちに実行委員会を発足する予定である。

郷会長より、再来年の年会は名古屋で行われ、実行委員長は名大の垣谷 俊昭氏、会期は平成 14 年 10 月 12、13、14 日を予定、会場は旧教養部を予定しているとの説明があった。

連絡事項：

第 2 回運営委員会は 12 月 2 日(土) 13:00 から、愛知県中小企業会館にて行われる。